

概 要

- I. ケインズ以後のマクロ経済学
- II. 経済活動の変動
 - A. 潜在生産能力の決定とその成長
 - 1. 潜在生産能力の決定因
 - 2. 最適貯蓄の理論
 - B. 経済の長期趨勢と短期変動
 - 1. 戦後日本の経済変動
 - 2. 経済変動の分析
- III. 「古典派」とケインズ
 - A. ケインズおよび新古典派総合
 - 1. 非自発失業
 - 2. 新古典派総合の意味
 - B. 「新しい古典派」
 - 1. 合理的期待仮説
 - 2. 「新しい古典派」理論の構成要素
- IV. インフレーション
 - A. フィリップス曲線
 - 1. フィリップスの発見とその解釈
 - 2. 日本経済のフィリップス曲線
 - B. マネタリストの理論
 - 1. 自然失業率仮説の帰結
 - 2. ルーカスの理論
- V. マクロ経済政策
 - A. マクロ経済政策の課題
 - 1. 資源の完全利用
 - 2. 変動の安定化
 - B. マクロ経済政策の諸問題
 - 1. 金融政策
 - 2. 財政政策
- VI. 開放経済のマクロ経済学
 - A. ケインズの洞察
 - B. マンデル=フレミング理論